

野洲市立中主幼稚園

日時：平成21年 7月 6日(月) 13:00～17:00

平成21年 7月 9日(木) 9:00～17:00

場所：野洲市吉地1120番地1

幼稚園から歩いて5分のところに、今回のフィールドとなったさざなみホールの植え込みがあります。カラスの巣がある大きな木を中心に、何本かの木や笹が生えており、下は草原になっています。今まで見過ごしてきた身近な場所にも、驚くような自然がありました。

(対象：年長23名)

1回目は講座、下見とプログラム作りです。2回目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。

講師 島川武治(しまっち)さん

自然体験学習では次のようなことを身につけることが目的です。

地球温暖化等の環境問題に対して、主体的に行動できるようになる。

自然の中で遊ぶことで、大人になってもふるさとを思い出し、大切に思うようになる。プログラムの中で感性を磨き、感受性を持った人間として育っていく。

自然の中では多様な生物が複雑な関係を持って 生きている。このような命の繋がりを 感じることで、命の大切さに気付くことができる。

そして、自然と関わることで、子どもは大きく変わり、人にも自然にも優しくなります。また、子どもが、自然が楽しくよいものであるという、よいイメージを持てるような配慮も必要です。



真剣な表情で緊張して聞いています



目をつむりながら触った物を後で当てるゲームです。手の感触は確か？

「草むらのヒーロー(くずってずごい)」のプログラム

くずに着目、まず長いつるを探します。そのつるを使ってどんな遊びができるか考え、最後は葛湯をごちそうになります。



こっちのつるが長い! まだまだ先がある



なわとびもできる みんなでよいしょ

「虫の運動会」のプログラム

虫を探して飼育ケースに入れ、飛ぶ虫、歩く虫などを観察します。そのあと、白い紙の上に虫を置いて、一番よく飛ぶ虫、一番速く歩く虫を選びます。



ここにはたくさんの虫がいる 住みかかな？



このバッタが一番よく飛ぶ！

「虫さんのすてきな家を作ろう」のプログラム

集めた虫さんが住みやすい家をイメージし、材料を集めて快適な家を作ります。



ふかふかのベッド 気持ちいいはず



お家をここに置けばゆっくり休める

(しまっちアドバイス)

- ・使ったくずをどうするか？園に持ち帰り、朽ちて自然に帰ることを知るのも良い。
 - ・虫の嫌いな子どもにどんなフォローをするのか？授業時に個別に探っていく必要がある。
 - ・虫の住んでいる場所の状態を家造りに取り入れられるような導入があっても良い。
 - ・パン箱は自然物ではないので、その処理も含めた取り扱いを事前に考えておくべき。
- 最後に、相対的に見て三つのプログラムがうまく流れた、2時間もの長時間、子どもが夢中で遊んでいたのは素晴らしい展開であった、と総括されました。

また、「子どもは自然が好きである」「子どもが自然とふれあうことは大切であることを再認識した」「これからは自然と接する機会を多く持ちたい」「見逃している身近なところにも多くの豊かな自然があることに気付いた」こんな意見が参加者全員から寄せられました。最後に、この体験を二学期からの保育に積極的に取り入れること確認して終了しました。